▲書籍用：執筆要項

１．執筆詳細について

(1) 外国人名・地名は原語のまま表記してください。
(2) 欧文はタイプあるいは活字体でお願いします。
(3) 度量衡の単位は、mm、cm、m*l*、d*l*、*l*、μg、mg、kgとして記してください。
(4) 論文中、繰り返し用いられる語は略語を使用して構いませんが、初出の際は正式の語を用い "以下…と略す" と記してください。
(5) 章、節、項などをあらわす符号として、次のようなものを用いてください。

Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．……
1．2．3．……
1）2）3）……
a．b．c．……

２．図、写真、表について

(1) 本文とは別紙に必ず１枚ずつ貼付し、本文中に挿入位置を明示してください。
(2) 写真はデータ（photoshop，powerpointなど），スライド，紙焼きいずれでも構いません．紙焼きの場合は手札以上の鮮明なものでお願いします．図と同じ扱いで番号をつけてください。

３．文献について

(1) 文献は論文に関するものに限り、20点以内に限ります。
(2) 著者３名以上の場合は３名列記のうえ、"……、他" "……，et al."と記してください。
(3) 必ず本文中に文献番号を記入してください(ex. …である[1]。)。
(4) 誌名を略記する場合は、外国のものはIndex Medicus所載のものに従ってください。
(5) ウェブサイトは文献欄に引用せず，本文の最後に附記してください。
(6) 文献記載の形式は次の例に従ってください。

＜雑誌＞著者名：論文名．雑誌名　巻；頁（初頁-終頁）（頁は通し頁），発行年
八尾隆史，岩井啓一郎，相島慎一，他：胃カルチノイドの病態と分類．臨牀消化器内科　21；1385-1391，2006
（雑誌の号数は省き、頁は通し頁を記入してください）

＜書籍＞著者名：論文名．（編集・監修者名：）書名．頁（初頁-終頁），発行所，発行地，発行年
上村朝輝：ウイルス肝炎 ── Ｂ型肝炎．市田文弘 編：臨床肝臓病．24-38，日本メディカルセンター，東京，1984

４．著作権等について

(1) 著作権は、執筆した本人が所有する。
(2) 弊社で発行するすべての出版物に掲載される著作物の複製権・翻訳権・上映権、二次的著作物利用権・譲渡権・公衆送信権（複写、スキャン、デジタルデータ化等も含め）等は弊社が保有し、それらの利用申請・複写複製の許諾等の管理は弊社が行うこととさせていただきます。

※ 基本的には、著作権をお持ちになる先生方の著作物を、他が使用することに関する許諾等の管理を弊社が行うということで、ご自身による再利用を拘束するものではありませんが、他誌・他書に掲載される場合は、クレジットにて出典（書名・出版社名等）を明記して頂くなどの必要性があります。

５．転載・引用について

他の文献より文章・図・表などを転載・引用される場合は、予め著作権者の了解を得てください。その際、原著者との交渉・転載などの費用負担は執筆者にてお願いいたします。

また、それらには出所（著者名、タイトル、書名・雑誌名、発行所、巻数、頁、発行年）を明示してください。

※一般的な転載・引用許諾願いのフォーマットは、当社ホームページに収載しておりますのでご利用下さい。
※とくに海外文献からの転載・引用につきましては、高額な使用料を請求される場合がありますので、お手数でも執筆段階で速やかに申請していただき、問題発生の可能性がある場合は、事前にご相談ください。

６．著者校正について

著者校正は原則として一度行います。共著の場合は、予め校正者を指定してください。

７．執筆枚数および原稿締切日は厳守してください。

2013年12月10日．日本メディカルセンター